

杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）

令和3年度 期末評価

令和4年3月
（企画財政課）

目次

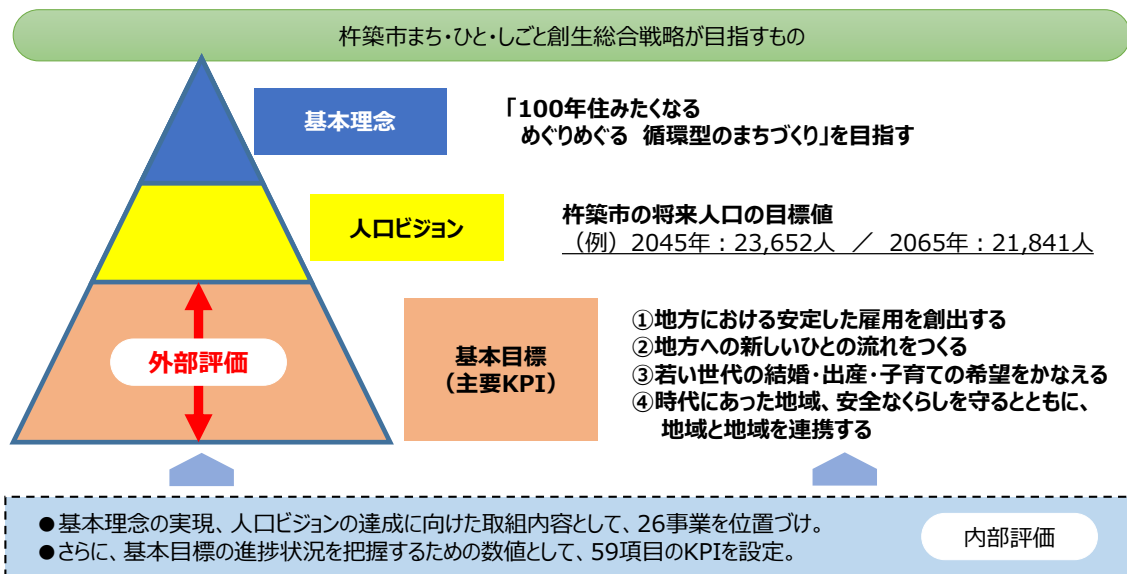
1. まち・ひと・しごと総合戦略期末評価.....	1
1-1：評価の目的.....	1
1-2：評価の方法.....	2
1-3：評価の基準.....	3
2. 評価対象の概要.....	3
2-1：人口ビジョン.....	3
2-2：4つの基本目標と主要 KPI の令和3年度進捗状況.....	4
2-3：基本目標の進捗状況評価結果.....	4
3. 各基本目標に付随する事業評価一覧.....	5
3-1：【基本目標①】地方における安定した雇用を創出する.....	5
3-2：【基本目標②】地方への新しい人の流れをつくる.....	6
3-3：【基本目標③】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	8
3-4：【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する... 9	9
参考資料.....	10

1. まち・ひと・しごと総合戦略期末評価

1-1：評価の目的

杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～6年度の5か年計画）の進捗状況の確認と事業内容を評価することにより、各事業の改善策の検討、見直しを行うために実施する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大等により、事業の執行に多大な影響が生じ、停滞の長期化が懸念される中、主要 KPI の見直し・再設定の必要について審議する。



基本目標（抜粋）

<p>【基本目標①】地方における安定した雇用を創出する</p> <p>【取組方針①】消費者志向の農林水産業の振興、商工業の振興、集客・観光の振興、雇用対策の充実</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致件数：2018年度 0件 → 2024年度 4件（5年間のべ） ・創業件数：2018年度 8件 → 2024年度 35件（5年間のべ）
<p>【基本目標②】地方への新しいひとの流れをつくる</p> <p>【取組方針②】移住・定住の促進、空き家対策の充実、スポーツの振興、情報基盤の充実、市民交流・都市間交流、国際交流の推進</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者数：2018年度 84人 → 2024年度 500人（5年間のべ） <p>※移住・定住施策による移住者とする</p>
<p>【基本目標③】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>【取組方針③】子育て支援の充実、幼児・学校教育の充実、社会教育の充実と生涯学習のまちづくり</p>

【数値目標】

・出生数 : 2018 年度 204 件 → 2024 年度 239 件

【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【取組方針④】予防に重点を置いた健康づくりの推進、保険・医療・福祉のネットワーク化、地域共生社会の実現、地域生活をささえる公共交通の充実、コミュニティ協働の推進

【数値目標】

・お達者年齢 : 2013～2017 年平均 → 2020～2024 年平均

男性 78.93 歳、女性 83.66 歳 → 男性 79.33 歳、女性 84.05 歳

・住民自治協議会との協働数 : 2018 年度 48 件 → 2024 年度 70 件

1 - 2 : 評価の方法

杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「本戦略」という。）は、「100 年住みたくなる、めぐりめぐる循環型のまちづくり」を基本理念とし、将来の人口について数値目標を設定（人口ビジョン）し、人口を確保するための 4 つの基本目標ごとに、数値目標や具体的な施策についての重要業績評価指標（KPI）を設定している。

各 KPI に対する取組内容、その達成状況を確認することにより、本市の人口維持にどの程度寄与しているのかを評価し、将来人口の確保につなげるための改善策等を講じる。

- (1) 内部評価 : 主要 KPI の基礎となる事業や取組内容の所管課において、令和 3 年度の実施内容、達成状況及び要因分析を行う。
- (2) 外部評価 : 産官学金労言の有識者により、1-3 に掲げる基準による実施状況の評価を行うほか、改善策について提言を行う。
- (3) 期末評価 : 外部評価指摘を受けたものについて、各 KPI 所管課において、令和 4 年度の実施内容の改善方針を定め、期末評価とする。

1-3：評価の基準

緊急財政対策期間中の本市において、本戦略推進に有用であっても、事業規模の拡大や大規模な再編は現実的でない。今できる改善策を着実に取り組み、将来人口確保のため、立ち止まらないことを基調とし、以下の基準により実施内容を判定する。

期末評価における判定と基準	
A	対策や事業が施され、目標を上回る効果が出ており、良好と認められる。
B	目標を80%以上達成し、かつ課題等の整理がなされ、対策が講じられている。
C	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。
D	外的要因・財政状況の変化等、本格着手が可能になるまで注視を継続する。
E	コロナ禍の影響により評価ができないもの。

2. 評価対象の概要

2-1：人口ビジョン

本市が掲げる将来人口の目標と進捗状況は以下のとおり。

9月末 住基	本戦略期間					中間目標	超長期目標	
	R2	R3	年次指標			R7		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2045年	2065年
目標	28,297	28,093	27,889	27,684	27,480	27,276	23,652	21,841
実績	28,463	27,799						
国想定	28,297	27,918	27,540	27,161	26,783	26,404	19,312	13,178
達成率	100.6%	99.6%						

※令和3年9月末時点・住民基本台帳より

※国想定は、国立社会保障・人口問題研究所が算出した2015年国勢調査による中位推計の準拠値

※達成率は、本市人口ビジョン目標値÷実績値で算出

2-2：4つの基本目標と主要 KPI の令和3年度進捗状況

※目標値や事業概要は、戦略本体を参照。

基本目標	主要 KPI 名 (数値目標)	単位	目標	実績	達成率	評価
①	企業誘致件数	件	1	0	0%	C
①	創業件数	件	7	15	214.3%	A
②	移住者数（移住・定住施策によるもの）	人	95	83	87.4%	B
③	出生数（年度内）	人	218	124	56.9%	C
④	お達者年齢（R2～6平均）男性	歳	79.33	80.00	100.8%	A
④	お達者年齢（R2～6平均）女性	歳	84.05	84.10	100.1%	A
④	住民自治協議会との協働件数	件	55	56	101.8%	A

2-3：基本目標の進捗状況評価結果

基本目標①の進捗評価	B
企業誘致件数はなかったものの、創業件数は商工会と連携した創業支援への取り組みの成果で件数が増加し、「チャレンジできるまち」として新たな賑わいが期待できる。	
基本目標②の進捗評価	B
コロナ禍の影響により緊急事態宣言下での移動制限がある中、移住フェアや移住希望者の現地確認等ができなかったが、テレワーク移住の需要はあるので空き家バンク制度等を活用して、移住者を呼び込む PR の強化にも取り組む必要がある。	
基本目標③の進捗評価	C
昨年度同様に目標を大きく下回る結果となり、特にこの3年間の減少率は大きい。出生数減少の要因の一つとして考えられている「若年女性人口の減少」等、本市に、どういう要因があるのかをしっかりと把握し、今後の対応を検討する必要がある。	
基本目標④の進捗評価	A
概ね目標を達成することができたものの、将来、高齢を向かえる壮年期・中年期へ予防事業の取り組みにも努めていく必要がある。	

3. 各基本目標に付随する事業評価一覧

各 KPI に対する取組状況は、事業 KPI 総括表を参照。

3-1:【基本目標①】地方における安定した雇用を創出する

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	A・B 比率
13	3	1	0	3	80.0%
<p>【概要】</p> <p>(事業 01 次世代につなぐ「きつきスタイル農林水産業の推進」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数、薬用植物栽培面積、繁殖母牛頭数、骨切りハモの出荷量が目標を上回ることができ、担い手の確保や生産規模の拡大が期待できる。 ・サポート機構連携員数は、目標には至らなかったが昨年度より増加 (+1) することができた。 ・労働力を必要とする側される側がマッチングできる人材バンクの利用者数は、コロナ禍の影響により説明会等が開催できず、バンク設置まで至っていないため評価ができない。 <p>(事業 02 消費者に信頼され、愛される「杵築ブランド」づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵築ブランド認証数、杵築ブランド認定品販売額が昨年度より増加となり目標も大きく上回ることができ、売れる商品のラインナップができ始めている。 <p>(事業 03 世界農業遺産の活用と文化継承)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商社による地域特産品の取扱額が昨年度より大幅な増加となり目標を大きく上回ることができたが、世界農業遺産としての成果かは不明。 ・七島藺製品販売額は昨年度より増加したが、コロナ禍の影響によりイベントでの販売が中止となり目標には至らなかった。 <p>(事業 04 魅力的で活力ある商業機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の店舗数、事業承継支援件数が昨年度より増加となり目標を大きく上回ることができ、新たな賑わいが期待できる。 <p>(事業 05 地域商社を活用した地域経済の活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商社による地域特産品の取扱額、市内取引事業者数が昨年度より大幅な増加となり目標を大きく上回ることができたと同時に地域商社への信頼も大きくなった。 ・ドローン講習検定会・体験会の開催件数は昨年度より増加となったが、コロナ禍の影響もあり開催件数が延びず目標には至らなかった。 <p>(事業 06 市全域にわたる観光事業の推進)</p>					

・観光客数、観光消費額が昨年度より増加となったが、コロナ禍の影響もあり目標には至らなかった。コロナ禍の影響が今後も長引くことが予想されるため、ウイズコロナ時代にあった観光ツールの開発や最低目標値等の設定を検討する。

(事業 07 地域に活力を生む創業・企業誘致の推進)

- ・県の企業立地推進課からの問い合わせで立地相談はあるものの、企業誘致件数は 0 件だったため目標には至らなかった。
- ・商工会会員数は昨年度より減少となったが目標は上回ることができた。商工会との連携を強化する必要がある。
- ・創業件数が昨年度より大幅な増加となり目標を大きく上回ることができ、新たな賑わいが期待できる。

【外部評価】

新規就農者数、薬用植物栽培面積、繁殖母牛頭数、骨切りハモの出荷量が目標を上回る結果となっていることは大変良い。若者の就労、生産規模拡大につながるような取組や骨切りハモについては観光振興につながるよう食観光の取組を併せて進めてほしい。

また、城下町を魅力ある店舗が増加しているように感じている。城下町の雰囲気を守りながら空き店舗を有効利用して賑わい創出を進めてほしい。

移住定住を推進するためには働く場が重要と感じている。立地相談はあるようなので、企業ニーズ等にできる範囲で対応し企業誘致に取り組んでほしい。

3 - 2 : 【基本目標②】地方への新しい人の流れをつくる

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	A・B 比率
6	4	0	1	5	62.5%

【概要】

(事業 08 地域に長く住み暮らすことのできる移住プランの提供)

- ・移住・定住施策による移住者数は、県内からの空き家バンク利用者が大きく増加したため昨年度より上回ったが、コロナ禍の影響もあり目標には至らなかった。
- ・移住体験プログラム参加者数は昨年度より増加となったが、コロナ禍の影響によりイベントの計画変更等があり評価ができない。

(事業 09 素敵な出合いをサポートする「婚活事業」の取組)

- ・婚活サポーター登録者数は昨年度より増加となったが、コロナ禍の影響もあり婚活を支援する希望者が予想より少なかったため目標には至らなかった。
- ・カップル成立数はコロナ禍の影響でイベントが中止となったため評価ができない。

(事業 10 住みたい物件が見つかる「空き家バンク」の充実)

・空き家バンクでの成約数、新規登録物件数はコロナ禍の影響により現地調査や確認、紹介の実施ができない期間があったため目標には至らなかった。空家対策にも関わるため関係課との連携で対応する必要がある。

(事業 11 地域を元気にする空き施設の活用)

・空き施設利用率は全ての空き校舎において企業等へ貸し付けできており目標が達成できた。

(事業 12 スポーツ合宿・研修の誘致)

・合宿・大会等による宿泊者数は補助金利用実績を基に評価していたが、緊急財政対策による合宿補助金の廃止のため評価ができない。

(事業 13 魅力的な情報発信)

・市公式ウェブサイトへのアクセス数、SNS のフォロワー数が昨年度より増加となり目標を上回ることができた。杵築の魅力や情報発信のツールとしてこれからも充実を図り、移住・定住等に役立てる。

・情報発信数はウェブサイトへの掲載件数が昨年度より大幅に減少しているが、コロナ禍の影響によりイベント等が中止となったため評価ができない。

(事業 14 思いがちな「ふるさと納税」で元気と魅力アップ)

・ふるさと納税寄附金額、使い道実績の情報発信数が昨年度より大幅な増加となり目標を大きく上回ることができた。地域製品の販路拡大に大きな成果となった。

・企業版ふるさと納税賛同企業数は昨年度より減少となったが目標は達成でき、地方創生プロジェクトの財源確保ができた。

(事業 15 Kit-suki (きつとすき) になる学生の職業体験研修受け入れ)

・職業体験研修者数、受入団体・事業者数はコロナ禍の影響により事業を実施していないため評価ができない。

【外部評価】

お試し移住施設が周辺部に完成し移住への取組を進めている。移住者のニーズは幅広いと考えられるので城下町の良さを知ってもらうためにも城下町にお試し移住施設設置を検討してみてもどうかと考えます。

また、価格的にメリットのある住みたくなるような分譲地も検討する必要があると考えます。

3-3 : 【基本目標③】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	A・B 比率
8	2	1	0	2	76.9%
<p>【概要】</p> <p>(事業 16 妊娠・出産・育児まで切れ間のない子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降の出産数の増加数は昨年度と同様に目標を大きく下回っている。出生数全体が減少していることから、第2子以降の出産数も減少することになる。基本目標となっている出生数と合わせて今後の対応を検討する必要がある。 ・ファミサポ事業援助会員数、子育てほっとクーポン利用の目標は達成できた。 ・支援センターの利用率向上は児童数減少も考えられるがコロナ禍の影響により評価ができない。 <p>(事業 17 小・中学生の教育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ禍で全ての事業が中止になったが、今年度は事業を実施することができたため学力定着状況が分かりやすくなった。 ・学力定着状況調査の国語小5、国語中2、算数小5は目標を上回ることができた。 ・学力定着状況調査の数学中2、英語中2で僅かではあるが目標値を下回った。補充学習等を積極的に取り組む必要がある。 ・ICT使用の小6、中3は目標を大きく上回ることができた。GIGAスクール構想の中で端末等の整備を実施したためであり、実施前の目標値が役立たないため目標値の変更を検討する必要がある。併せて、授業の中でICTを有効に活用する取り組みも考えていく必要がある。 <p>(事業 18 地域コミュニティ活性化を図る「人材バンク」の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク活用回数は昨年度より増加となり目標も上回ることができた。ただし、利用の多くはスポーツ系となっている現状がある。もっと広報等で工夫する必要がある。 ・人材バンク登録者数は昨年度と同様に目標を大きく下回っている。コロナ禍の影響により登録を差し控える人もいて評価ができない。 <p>【外部評価】</p> <p>子育てほっとクーポン利用では、おむつやミルク購入など子育て世帯が利用しやすいように改善出来ている。利用向上に向けて引き続き広報に努めてほしい。</p> <p>また、杵築市独自の子育て施策があると良いのではと考えます。若い世代の定住支援を考えてほしい。</p>					

3 - 4 : 【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	A・B 比率
6	7	4	0	2	68.4%
<p>【概要】</p> <p>(事業 19 地域資源の活用による予防に重点を置いた健康づくりの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会が活動している行政区数は、昨年度より大きく増加しており目標も大きく上回ることができた。 運動習慣のある人の割合は、コロナ禍の影響によりイベントを中止した地区もあり、昨年度同様に目標には至らなかった。 塩分の取り過ぎに気を付けている人（40～74 歳男・女）は、コロナ禍の影響によりサロンの休止もあり、昨年度から僅かではあるが減少したため目標には至らなかった。 食生活改善推進協議会の活動回数は昨年度より大きく増加したが、コロナ禍の影響もあり活動が一部中止になったため評価ができない。 <p>(事業 20 必要な医療・介護サービスの提供体制づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の市内受診率は昨年度より増加しているものの、近隣市町の専門性の高い医療機関への受診もあり、目標には至らなかった。 市内サービス受給率は昨年度より増加しているものの、近隣市町の費用が低額な施設への利用もあり、目標には至らなかった。 救急の市内搬送率は昨年度同様に目標には至らなかった。 <p>(事業 21 地域共生社会の構築 ～我が事・丸ごとの地域づくり～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全世代対応型包括支援センターでの相談受付数、サロン数は、昨年度より大きく増加しており目標を上回ることができ、連携した相談支援ができている。 生活支援サービス利用者数は昨年度より大きく増加となったが、利用者が固定化しており目標には至らなかった。 <p>(事業 22 青少年等自立支援就業チャレンジ事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験人数はコロナ禍の影響により時期が限定される中、体験を実施したが昨年度より増加となり目標も上回ることができた。 就業人数は就業希望者と事業者とのマッチングまで行ったが、最終的に実績にならなかったため目標には至らなかった。 <p>(事業 23 気軽にお出かけできる地域交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス（市内循環コース）平均乗車数は山香病院の送迎サービス開始やコロナ禍の影響により昨年度より大きく減少したため目標には至らなかった。 乗合タクシーの平均乗車数は市内医療機関等の送迎サービス開始やコロナ禍の影響により昨 					

年度より減少したため目標には至らなかった。

(事業 24 地域の将来を支える学生による地域課題の解決チャレンジ)

- ・学生チャレンジ参加学生数は、杵築高校の 1 年生を対象に実施したため目標を上回ることができた。

(事業 25 地域が元気になる住民自治協議会活動の充実)

- ・住民自治協議会との協働件数は、昨年度より増加となり目標も上回ることができた。
- ・活動による自主財源は金額が比較的小規模な取り組みだったため、昨年度より増加したが目標には至らなかった。

(事業 26 将来にわたって持続可能なまちづくり)

- ・居住誘導区域内の人口は、コロナ禍の影響で事業を実施していないため評価ができない。

【外部評価】

生活支援サービス利用者が固定化されているとのことで、市報や健康づくり教室等あらゆる場面において市民へ周知を図ることが必要ではないかと考えます。

また、杵築高校との地域課題の解決チャレンジ事業の取組は、高校生が地域のことについて関心をもつ機会となるので、とても良いと考えます。高校生のアイデアを少しでも形にできると、より良いアイデアが多く提案されるのではないかと考えます。

参考資料

- ・事業 KPI 総括表